

小うるさい人

おつせかい ぶんしん さいりし

ふせアかい じぶん さいり

まさか 人金いろいろ ぐだれのとおり

だれの 作詩 存りか 威心 ち

作詩 といろのは いろん 人金と

知りつくして いろければ ちりあ

美しい 杖景 心あはれ ちりあ

こはかりで 肩は

人の心を動かし にとけな

いろん 与人に 虫あ

今さう いうに

そらるのあ と 思うにと ちりあ

午後 男性 へんしん ち

便 さいで すね どうして ので ちりあ

そのへん ぱーに ち

今朝 おまじ ちりあ ちりあ

ちりあ

一日 何回 ちりあ ちりあ

この 何は 二度 ちりあ ちりあ

新らしく 布きんを穿った

その布きんの 処置を 与ねて

おつかし ことを 言う

ここは そのハルグの 家である

のを ぬすれて いる

ささり 居ると ども

つみお さなると

ある さいなると 思つて いる

シニセツを して いる こと

こども である

任 分 存 在 終 りに 存 在

2024
8/3